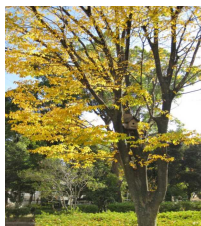


令和2年度 学校通信  
12月号  
12月1日発行

# 成文

尼崎市立成文小学校  
校長 木戸 恒徳  
TEL 06-6418-2361

ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E17/index.html>



## 『ヤマアラシのジレンマ』体験を積み重ねて…

校長 木戸 恒徳

背中に『針毛』がはえている動物をご存知でしょうか？『ヤマアラシ』  
『ハリネズミ』…そんな名前の動物をご存知でしょうか？

18世紀を生きたあるドイツ人が、晩年に出版した本の中で、

『ヤマアラシの一群が、冷たい冬のある日、お互いの体温で凍えることを防ぐために、ぴったりとくっつきあった。しかし、まもなくお互いに刺(トゲ)の痛みが感じられて、また別れた。温まる必要からまた寄り添うと、2度目の禍が繰り返されるのだった。こうして彼らは《2つの難儀》の間に、あちらへこちらへ投げられている内に、ついにほどほどの間隔を置くことを工夫したのであって、これで一番うまくやっていたようになっただけである。』

という物語を描きました。

『針毛(刺(トゲ))』に身を包むヤマアラシは、寒さに凍えて生命を失う『苦しみ』を避けようと身を寄せ合えば、お互いの『針毛(刺(トゲ))』が突き刺さり、傷つき、『痛み』という『苦しみ』を味わいます。《2つの難儀(『苦しみ』)》の1つから逃れようとすると、もう1つに苛まれます。“2つのことを両立させることができずに、その間で、どうにもならなくなっている『ジレンマ』”ヤマアラシを描きました。

そして、ドイツ人が描いたこの物語が心理学で注目され、『ヤマアラシのジレンマ』と名づけられました。と言うのも、『ヤマアラシのジレンマ』は、このドイツ人だけが感じたことではなく、世の中の多くの人たちが、『人間関係を築こう』とするときに、大きい小さいか、多いか少ないかの違いはあっても、感じたり、体験したりすることであつたからです。

成文小学校で学ぶ子どもたちも、『人』として、幼いなりに『ヤマアラシのジレンマ』を感じる【場】に身を置いているかもしれません。“世の中の多くの人たちが”体験する『ジレンマ』であることで、幼い子どもたちよりも先に“体験”した『ジレンマ』であることで、子どもたちに、子どもたちが感じる“『苦しみ』・『痛み』”を心配して、「近づかないこと」「係わらないこと」が『正解!』と教えてあげることが『正解なのかどうか』は、考えてみたいことだと思います。このドイツ人は、『ついにほどほどの間隔を置くことを工夫した』『これで一番うまくやっていた』と結びました。“体験”から学ぶ『力-意志-』があると信頼すること、そして、任せてみることは、“不安の尽きない”ものかもしれません。それでも、“成文っ子”たちを信頼する。そう言いたいと思います。

2020年が終わるあと1ヶ月の間でも、2021年から始まる新たな未来でも、成文小学校で学ぶ子どもたちが、『ヤマアラシのジレンマ』体験を積み重ねて、豊かな人間関係を築く『力-意志-』を身につけ、心穏やかな生き方を手に入れてくれることを願うものです。



## 12月の予定

日	曜日	主な行事
1	火	人権週間(11/30～) ジョギング(1.3.5年)
2	水	↓ ジョギング(2.4.6年)
3	木	↓チャレンジタイム ジョギング(1.3.5年)
4	金	↓環境体験学習(3年) ジョギング(2.4.6年)
5	土	
6	日	
7	月	諸費引落 ジョギング(2.4.6年)
8	火	ジョギング(1.3.5年)
9	水	あまっ子ステップ・アップ調査(全学年)
10	木	マラソン大会(武庫川河川敷) チャレンジタイム
11	金	マラソン大会(予備日)
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	成文計算チャレンジ検定 環境体験学習(3年:予備日)
16	水	

日	曜日	主な行事
17	木	チャレンジタイム
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	給食最終日 集団下校(5校時)
23	水	12:30下校
24	木	12:30下校
25	金	終業式 大掃除 12:00下校
26	土	冬季休業日
27	日	↓
28	月	↓
29	火	↓
30	水	↓
31	木	↓

### 【1月の主な行事】

- 8日(金) 始業式 12:00下校
- 11日(月) 成人の日
- 13日(水) 給食開始  
委員会活動
- 15日(金) 避難訓練・集団下校
- 25日(月) 給食週間(～1/29)
- 26日(火) 書き初め展(～1/29)  
[今年度は、児童鑑賞のみ]
- 27日(水) クラブ活動(3年見学)
- 29日(金) バスケットボール交流試合  
(6年:わかば西小にて)

### 【『マラソン大会』12/10(木)】

12月1日(火)から始まる『さわやかジョギング』で、子どもたちは、指定の曜日に、心地よい汗を流しながら走ります。自分の力を出し切り、『完走』を目指して頑張ります。

成果を見せる『マラソン大会』は、武庫川河川敷で、午前9時30分スタートです。詳しくは、後日配付します『マラソン大会のお知らせ』をご覧ください。

一人ひとりが自分のベストを尽くそうと走る子どもたちに応援の拍手をよろしくをお願いします。



## 【《新たな授業の展開》を学ぶ。11月20日『職員研修』】



学校通信『成文』11月の裏面につづりましたように、11月20日の午後、兵庫教育大学から永田智子教授を講師として本校にお招きし、全教員が参加して『職員研修』を実施しました。2021年1月から始まっていく『1人が1台のPCを手元に持ちながら授業を受ける』環境【すべての周辺機器が市内的に整えられ、本格的に稼働していける環境になるには、もう少し月日が必要なようですが…】に対応する能力・技術を身につけるため、“成文っ子”たちの『授業を受ける権利—これも大切な《人権》の1つです—』をカットしてしまっただけでなく、すべての教員が熱心に永田教授の講話に耳を傾けました。

永田教授によれば、「世界レベルのデータで見ると、日本の子どもたちの“PCなどのICT機器”の利用は、学習面では、世界の平均以下」だそうです。でも、「学習以外での“ICT機器”の利用は、世界の平均以上」なんだそうです。これは、“ゲーム”や“ユーチューブ”などを“楽しむ”ことには“コンピュータ”を活用しているけれど、“なぜ？”“なに？”と疑問に思ったことや、“勉強”していてわからなかったことを“コンピュータ”を活用して解決しようとする子どもたちが、日本では少ないということの意味するのだそうです。

いかがでしょうか？日頃、ご家庭で子どもたちの様子を間近に見ておられる保護者様には、「本当！家（うち）の子どもが“コンピュータ”を勉強に活用しているところなんか見たことないわ…」と思われるのでしょうか？あるいは、「家（うち）の子どもは、平均以上のゾーンに入っていると思うな…。“検索”なんかを活用して、結構、勉強に“コンピュータ”を使っているのを見るからな…」と思われるのでしょうか？『子どもたちが“学校”を卒業して、社会に、世界に、羽ばたくとき、この“差”が大きく影響してきます。』『世界の人たちと渡り合わなくても、日本の中で、“その力”を手に入れようともう行動し始めている人たちとの間に、10年後、20年後、この“差”を意識せざるを得なくなります。』“その力”とは、『情報活用能力』だと永田教授は指摘されます。そして、『情報活用能力』を子どもたちに豊かに育むために、これからの“学校の教員”は、『1人が1台のPCを手元に持ちながら授業を受ける』環境を効果的に運営でき、《新たな授業の展開》を実践していけるようになることが、とっても大切になります…と教示されます。

『1人が1台のPCを手元に持ちながら授業を受ける』環境が整えば、“学校の教員”は、授業中でも『一人一人の反応』を把握することができ、『一人一人の反応』を踏まえた“双方向型の授業”が可能になります。一斉授業の中でも『一人一人の教育的ニーズ』を適宜に把握することができ、一斉授業の中でも“個別授業”が可能になります。間違えてしまったことを他の人に知られてしまって、気にしてしまう子どもをつくらず、“誰の”意見（回答）かではなくて、“一つの”意見（回答）として学級の中で共有し、誰もが安心して積極的に“協働の授業”に参加することが可能になります。などなど、永田教授が垣間見せてくださったこれからの《新たな授業の展開》に、すべての教員が大きな興味と関心を抱きました。とても有意義な『職員研修』になったと思います。保護者の皆様のご理解とご協力に心から感謝いたします。



## 【日程は《5分の1》になったけど…。11月3日『自然学校』】

4泊5日で行えたはずの『自然学校』が、新型コロナウイルスの影響で《5分の1》の日程に縮小されてしまいました。それでも、5年生の子どもたちは、「日程は《5分の1》になったけど…」の想いを胸に、かけがえのない《1日かぎりの》『自然学校』を思いっきり楽しんで来ました。

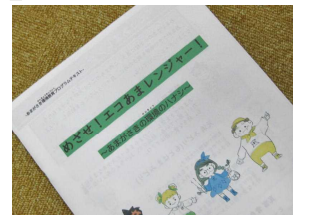
『丹波少年自然の家』で見せてくれた子どもたちの『役割・責任を果たす姿』『主体的に行動する態度』はとっても素晴らしいものでした。みんなで力を合わせて作ったお昼の『カレー』。『火を起こして火加減を調整するかまど係』『お米を洗って適度な水加減をセットする飯盒係』『野菜の皮をむいて適度な大きさに包丁でカットする食材係』。美味しかった『カレー』のあの味は、きっと忘れられない味になったと思います。後片付けを嫌がる人なんて誰もなくて、『来た時よりも美しく！』精神を誰もが発揮してくれていました。『焼き杉板にペインティング』の活動でも、みんながそれぞれに工夫を凝らし、地球上にたった1つしかない“記念品”を作りあげました。素敵な思い出とともに、きっと今も、お家の中で大切に飾られていると思います。



## 【『環境学習出前授業』4年：11月11日と18日】



4年生の環境学習を、地域で活動されている『あまがさき環境オープンカレッジ』の皆様の協力を得て実施しました。大気汚染がひどい状態にあった尼崎市の過去から始まった学習。ゴミの出し方など、現在の自分たちの生活について振り返りました。子どもたちは、“環境について何も意識しない生活を続けていたら、地球はどうなってしまうのか？”という少し難しい問いに向き合い、“持続可能な社会”を築いていくために、自分で取り組むことを考えました。4年生は、環境について考え、『エコあまレンジャー』を目指します！



## 【『人権週間』11月30日(月)～12月4日(金)に設定】



人権週間：1948年12月10日の第3回国連総会で『世界人権宣言』が採択され、1950年12月4日の第5回総会において、世界人権宣言が採択された12月10日を『人権デー』と決めました。わが国においては、毎年12月10日を最終日とする1週間（12月4日～10日）を『人権週間』と定めています。学校では、子どもたちが授業や普段の生活の中で、『思いやりの心』や『かけがえのない命』について考え、みんなが楽しく生きることの大切さを学んで欲しいと願っています。

《取り組み》 ①人権学習 各学級で、人権について学習する。

②ほほえみ親子読書 人権教育資料『ほほえみ』を配布し、親子で読む。

《お願い》今年も人権週間に教育資料『ほほえみ』を配布します。親子で読んでいただいで、個々の思いや考えなどを共有する機会となれば幸いです。